

平成29年10月17日付・山陰中央新報

コンビニスイーツ 県立大生が開発

短期大学部松江 ローソンと共同

スイーツとパンの計7品を開発した。商品は24日から、中国四国地区にある同社の1385店舗で数量限定で販売される。（堀江玄）

県立大短期大学部（松江市浜乃木7丁目）の学生がコンビニ大手のローソンと連携し、県産のイチジクや抹茶、牛乳を原料にしたス

イチジクや抹茶 パフェ 県産食材の魅力発信



ローソンと共同企画したスイーツやパンについて溝口善兵衛知事（左）に紹介する学生たち

県とローソンは2009年、県産品の販路拡大や県政情報の発信などに関する包括業務提携を締結。この提携に基づき、同社は従来、県内企業とシシミ醤油を使

った焼きおにぎりや豚肉を使った弁当などを発売。県立大とは昨年、県産の米粉とイチジクを原料にしたパフェとスイーツの2商品を共同開発して好評を得た。入りのサツマイモのクリー

ムを載せた「秋の抹茶パフェ」（245円）や、イチジクのムースを使った「いちじく&ブラウニーパフェ」（380円）など7種。それぞれ3万〜5万個を数量限定で販売する。県産品の機能性を学ぶ同大健康栄養学科2年の6人が、それぞれの素材の風味や相性などを踏まえて協議や試食を重ね、半年間かけ

て商品化した。16日には商品開発に携わった学生が、松江市殿町の県庁に溝口善兵衛知事を訪ね、特徴などを説明した。馬庭陽菜さん（19）は「若者から中高年まで幅広い層をターゲットにして作った自信作。県内外の大勢の人に県産食材の魅力を知ってほしい」と期待した。

松江キャンパス

県立大の将来像探る

学部新設と改編記念シンポ

開学記念シンポジウム



島根県立大短期大学の特色ある講義や学生生活を報告する卒業生ら

島根県立大松江キャンパス（松江市浜乃木7丁目）で来年4月に予定する四年制の「人間文化学部」の新設と短期大学部改編を記念するシンポジウムがこのほど、同キャンパスであった。市民や大学関係者ら約100人が、目指すべき大学像を考えた。

清原正義学長は、県内で活躍できる人材育成など「全国で一番地域に貢献する大学を目指す」と決意を

色のある講座や学校生活について報告した。短期大学部総合文化学科を卒業し、市内のNPO法人で観光ガイドを務める橋井友泉さん(24)は、在学時に小泉八雲や古事記、読み聞かせの講義を履修したことを紹介。「地域に関する知識とコミュニケーション力が身に付き、観光客の案内に役立っている」と強調した。

街角
トピックス

松江

堀川遊覧船を運営する 松江市観光振興公社はこ

◆島大生に堀川遊覧PR



のほど、島根大（松江市西川津町）の学園祭に初出店し、学生に遊覧船の魅力を紹介した。写真。

同大や県立大短期大学部松江キャンパスの学生でつくるサークル「みんなの堀川委員会」と出店した。ブースでは、遊覧船の認知度を尋ねるアンケートを実施し、堀川の歴史やサークル活動を紹介。アンケートは520人が回答し、遊覧船を知っている人も乗った経験はないとの声が大勢を占めたという。

同公社の天野昭男事務局長は「貴重な意見が聞けた。遊覧船や松江について知ってもらおう取り組みを進めたい」と話した。

（曾田元気）